

手術や薬の計量 子どもたち挑戦

善通寺でフェス

四国こどもとおとなの医療センター(善通寺市仙遊町、中川義信院長)で15日、病院フェスティバルが開かれた。大勢の子どもたちが訪れ、医師や薬剤師の仕事を疑似体験して医療への興味を深めた。写真。

フェスは地域の人たちに医療の現場を身近に感じてもらおうと、同センターが毎年開催しており、今年で4回目。

手術体験では、子どもたちが傷口の縫合に挑戦。医師から縫い方や結び目の作り方を教わりながら、手術用の針と糸で練習用の人工

皮膚を縫った。薬剤師コーナーでは、軟こうを小さい容器に詰め替えたり、精密な機器で薬の代わりに砂糖を正確に量ったりした。

手術体験に参加した丸亀市の吉原菜摘さん(8)は「糸を結ぶのが難しかった。お医者さんの仕事は楽しそう」と話していた。

